

平成25年度一般会計決算の概要(ポイント)

決算の全体像

- ◇歳入は、4,857億円。(対前年度比 + 175億円)
- ◇歳出は、4,736億円。(対前年度比 + 91億円)
- ◇実質収支は、75億円。(対前年度比 + 70億円)
- ◇国の緊急経済対策にかかる平成24年度補正予算を活用し、地域経済の活性化に資する諸施策に積極的に取り組むとともに、引き続き紀伊半島大水害からの復旧・復興を着実に推進。

歳入の状況

- ◇臨時財政対策債を含めた実質的な地方交付税は減少したものの、県税、地方譲与税の増加により、主要な一般財源は、^{②④} 3,347億円から ^{②⑤} 3,393億円に増加。
(+46億円)
- ◇国庫支出金(+153億円)等が増加したことにより、歳入全体では175億円の増加。

歳出の状況

- ◇義務的経費は、人件費が減少したことにより、^{②④} 2,500億円から ^{②⑤} 2,345億円に減少(△155億円)。
- ◇投資的経費は、国の緊急経済対策にかかる平成24年度補正予算を活用し、地域経済の活性化に資する諸施策に積極的に取り組むとともに、紀伊半島大水害からの復旧・復興を着実に推進した結果、^{②④} 715億円から ^{②⑤} 754億円に増加(+39億円)。
- ◇一般施策経費は、国の経済対策による基金創設など積立金が増加したこと等により、^{②④} 1,430億円から ^{②⑤} 1,636億円に増加(+206億円)。

収支の状況

◇県税、地方譲与税などの増加や、退職手当の減、給与減額措置などによる人件費の減少により、収支額は前年度に比べ増加。

実質収支 75億49百万円(②4 5億3百万円 +70億46百万円)

<参考> 県債残高 ②5年度末 10,676億円 (②4年度末 10,568億円 +108億円)
うち交付税措置がなく県税等で償還する額
4,163億円 39.0%(△183億円 △2.1%)

財政調整基金の残高

②5年度末 186億円 (②4年度末 183億円)

25年度中の基金増減

取り崩し額

—

積立額

3億円 (前年度決算剰余金の1/2等)

差引

3億円

財政状況の指標 (速報値)

※今後の精査により、数値に異動が生じることがあります。

◇一般会計のほか特別会計等の決算額を含め、財政状況の指標を算定。

◇本県の指標はいずれも基準をクリア。

<資金繰りの状況を表す指標>

指標の種類	H25本県数値	H24本県数値	基準
公営企業等を除く会計の赤字の比率(実質赤字比率)	「—」 (△2.48%)	「—」 (△0.21%)	<3.75%>
全ての会計の赤字の比率(連結実質赤字比率)	「—」 (△8.74%)	「—」 (△6.18%)	<8.75%>
公債費の比重を示す比率(実質公債費比率)	12.1%	11.6%	<25%>

<負債の状況を表す指標>

指標の種類	H25本県数値	H24本県数値	基準
県債残高だけでなく公営企業会計や公社・3セクの負担も含めた、一般会計が将来負担すべき負債の比率(将来負担比率)	185.6%	196.7%	<400%>

※表中、基準欄の数値は、法律により財政健全化計画等の策定が義務付けられる基準